

1月20日(土)、町内では初となる地吹雪体験ツアーが役場西側の雪原で行われました。

台湾などからの留学生4人が参加しました。この日は地吹雪体験には生憎の晴れもようとなりましたが、参加者らは「もんぺ」に「かくまき姿」となり「かんじき」を着用して笑顔で雪原にくりだしていました。体験後は、町特産である津軽海峡メバルを使ったメバル汁を堪能しました。また、25日(木)に2回目の地吹雪体験ツアーが行われ、東京から13人が参加しました。

この日は、猛吹雪にみまわれ、絶好の地吹雪体験日となりました。着替えた参加者らは視界が悪く、立っているのもやっとという状況のなか、雪の上を飛び跳ねながら地吹雪を体験していました。体験した人は

「飛ばされそうだった。雪国の人の強さを肌で感じる事ができ良い体験となった」と話していました。体験後は、熱々のメバル汁に舌鼓を打ち、冷え切った体を温めていました。



振る舞われたメバル汁



雪の上を楽しそうに歩くツアー客ら



初めての猛吹雪を楽しむ

幻想的な雪灯ろうを楽しむ

キャンドル&
雪灯ろう作り

中央公民館が1月27日(土)、町活性化施設と農産加工販売施設ピュアでキャンドル&雪灯ろう作りを行い、16人の子どもたちが参加しました。

キャンドルづくりでは、ゼリー状のロウをグラスに入れ、その上に溶かしたロウを流し込みました。カラフルな色合いになったキャンドルに子どもたちはうっとりしていました。

外に出てからは、雪灯ろう作りに挑戦しました。バケツにパイプを入れ、その周りを雪で固めてからパイプを抜き、バケツから出すと雪灯ろうの完成です。何度か失敗して崩れたりもしましたが、コツをつかんだ子どもたちは、てきぱき雪灯ろうを作っていました。灯りが点けられると、ピュアの前には幻想的な風景が広がりました。子どもたちからは「すごくきれい。疲れたけど楽しかった」と声が上がっていました。



幻想的なキャンドルライト



ペットボトルに色つけ



きれいなキャンドルできました

